

# ビジョン形成に向けた独創的アイデアを生み出す人の特性

合田陽人

指導教員 小谷浩示

## 研究背景

日本においては、労働者のモチベーションの低下が社会的課題として繰り返し指摘されている。その背景要因の一つとして、個人の価値観と組織が掲げる価値観との不一致が、仕事に対する意欲を阻害している可能性が示唆される。価値観の不一致は、仕事への主体的な関与を低下させるだけでなく、創造的思考やリスクを取ったアイデア生成といった高次の認知的・行動的プロセスを抑制することが指摘されている。

## 研究目的

本研究の目的は、個人と組織の価値観との一致度が、人のモチベーションおよび創造的アイデア創出にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることである。具体的には、個人と所属する組織の価値観の一致が仕事に対する意欲を高め、独創的なアイデアの生成に寄与するという仮説を検証し、人の創造性に関与する心理的・組織的メカニズムを解明することを目指す。

## 研究方法

高知県の教育関係者と企業の方々、23歳から60歳までの33人を対象に「フューチャー・デザイン高知『志』塾」というワークショップを開催した。いかに尖ったビジョンを創造できるのかに特化し、高知県の理想的な教育のビジョンの創造を試みた。ワークショップの前後でアンケートを取り、その結果やグループごとに録画したビデオ、グループワーク中に記録されたメモについてテキストマイニングを行い、回帰分析を行った。そしてワークショップの前後でどの程度高知県の教育に対する意識や理想が高くなったのかについて分析した。

## 分析結果

回帰分析した結果、value-congruence (個人と職場の組織の価値観の一致)が高ければ高いほど diversity score (多様性)が高く、独創的なビジョン創造に向けた尖ったアイデアを想起することができるという傾向が示された。

## 考察・結論

value-congruence (個人と職場の組織の価値観の一致)が独創的なアイデアを創出するために重要であり、人々の value-congruence (個人と職場の組織の価値観の一致)を高めるために個人が自分自身の価値観と職場の価値観を正確に理解する事でマッチングをより適切にしなければならぬことが示唆された。